

「読み」の授業研究会・長野サークル

2020長野読み研大学習会

コロナ禍で例年とは違った情勢のなか、10年続いてきたこの会をどうすべきかたいへん迷いましたが、ほぼ例年の人数を想定し、感染対策をとりながらだったら安全だろうとの見通しのもと、対面での学習会を実施することにいたしました。今年で11回目となります。

さて、来年度から中学校の教科書が新しくなります。そこで、今年は主に新教材に焦点を当てた研究にしようと考えました。長野県の国語教科書は光村図書が独占していますが、公開されている見本本によると、文学作品は定番を含めてあまり大きく変更しないものの、説明的文章はいくつか新教材に入れ替わっています。本学習会では説明的文章新教材を先取りし、文種から構成、論理、吟味についての教材分析と、どう授業化するかについて提案したいと思います。

また、新教材とは離れますが、中3ロングラン教材「故郷」を取り上げます。相変わらず輝きを放つ優れた教材ながら、時間が削られる傾向にあると聞きます。どこをどう読むべきか、より深化した読みの可能性を探りたいと思います。



とき

11月28日(土)、29日(日)

(28日)13:00~18:00 (29日)9:00~12:00

ところ

エデュカルトリア佐久教育会館 中会議室・大会議室

佐久市岩村田3098-1 エデュカルトリア佐久教育会館 (裏面に地図あり)

テーマ

中学校新教材(説明的)の分析と授業化(+「故郷」を深める)

参加費

500円 (資料代) 密を避け、換気に留意します。必ずマスク着用で!

日程

		12:30	13:00	13:20			15:00	15:20			17:00	17:10	17:50
28日・土	役員集合 12:00	受付	開会行事	講座Ⅰ「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」分析と授業化	休息	講座Ⅱ「『不便』の価値を見つめ直す」分析と授業化	休息	実践交流 & 諸課題	連絡等				
29日・日	役員集合 8:30	9:00		10:20	10:30	11:50		12:00					
		講座Ⅲ「クマゼミ増加の原因を探る」分析と授業化		休息	講座Ⅳ「『故郷』の読みをさらに深化、発展させる」	閉会行事							

1日目の日程終了後、佐久平駅周辺の居酒屋で懇親交流会を行います。都合のつく方は是非ご参加ください。

模擬授業風講座の内容

- I: 説明的文章「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」(光村中1・鈴木俊貴)について、教材分析と、それをどう授業につなげるかを提案し、議論したいと思います。[担当者 武田純志・軽井沢中/武田正道・南宮中]
- II: 説明的文章「『不便』の価値を見つめ直す」(光村中1・川上浩司)について、教材分析と、それをどう授業につなげるかを提案し、議論したいと思います。[担当者 梅田浩行・上田五中/中沢照夫・中込中]
- III: 説明的文章「クマゼミ増加の原因を探る」(光村中2・沼田英治)について、教材分析と、それをどう授業につなげるかを提案し、議論したいと思います。[担当者 武田正道・南宮中/土屋大輔・浅間中]
- IV: 文学作品「故郷」(光村中3・魯迅/竹内好)について、限られた時数でも読ませるべきこと、ところはどこなのか、新たな切り口や可能性を追究します。[担当者 中沢照夫・中込中/土屋大輔・浅間中]

申し込み方法

事前の参加申し込みは必要ありませんが、参加連絡を事務局までメールでいただくとありがたいです。

連絡先・読み研学習会事務局 中沢照夫(090-2643-6736)

〒386-0603 小県郡長和町古町1229 nakateru@avis.ne.jp



